

2021年12月期 第2四半期決算説明会

(第2四半期決算補足説明資料)

2021年8月6日
株式会社キッツ

【注意事項】

本資料に記載されている当社及び連結子会社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。

1 第2四半期決算の概要

2 通期業績見通し

－補足データ－

1 第2四半期決算の概要

2 通期業績見通し

－補足データ－

決算期変更について

2020年12月期より、決算期を3月末から12月末に変更。2020年12月期は、9ヵ月の変則決算となった。

本資料では、2020年12月期第2四半期(4-9月)ではなく、2020年1-6月を「前年同一期間」として算出した参考数値(監査対象外)と比較している。

決算期	2020年3月期				2020年12月期				2021年12月期			
月	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
3月決算会社 (国内Gr会社)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
12月決算会社 (海外Gr会社)	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q

前年同一期間

当期

2021年12月期 第2四半期 業績

単位(百万円)

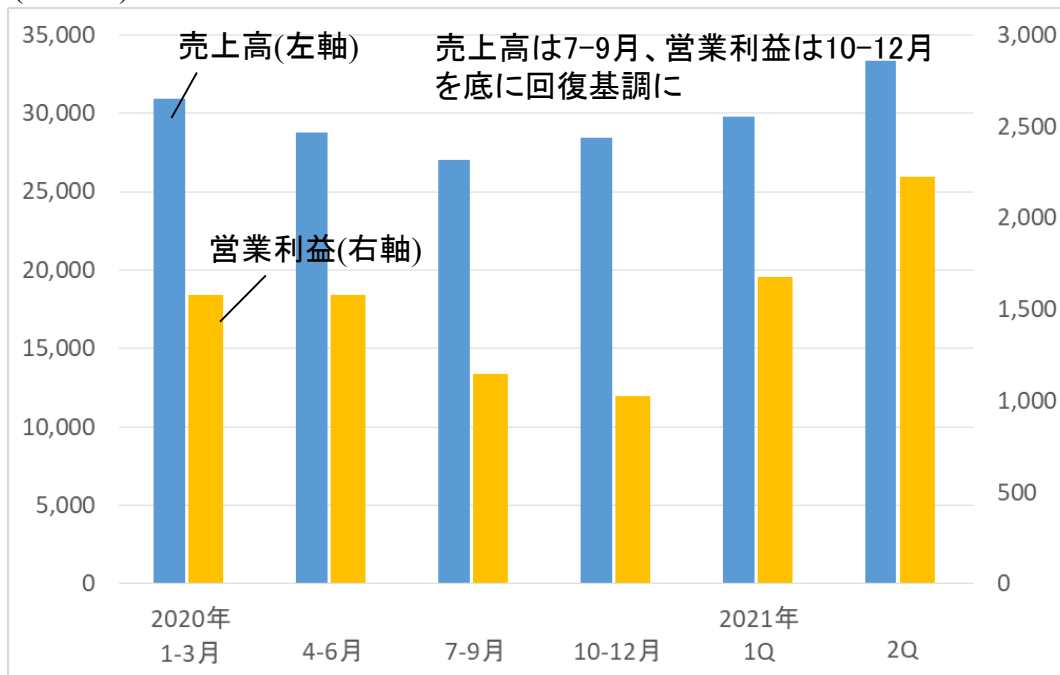
	2020年 1-6月 実績	2021年 12月期 2Q計画	2021年 12月期 2Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	59,637	62,900	63,117	3,479	5.8%	217	0.3%
内、バルブ事業	49,529	49,800	49,757	228	0.5%	▲42	▲0.1%
内、伸銅品事業	9,415	12,500	12,743	3,328	35.3%	243	2.0%
営業利益 (率)	3,158 (5.3%)	3,600 (5.7%)	3,902 (6.2%)	743	23.5%	302	8.4%
内、バルブ事業	5,338	5,200	5,348	10	0.2%	148	2.8%
内、伸銅品事業	▲200	350	460	661	-%	110	31.7%
経常利益	3,566 (6.0%)	3,550 (5.6%)	3,958 (6.3%)	392	11.0%	408	11.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,091 (3.5%)	2,100 (3.3%)	2,063 (3.3%)	▲28	▲1.3%	▲36	▲1.7%
ドル: 対円	108.25	109.0	108.47				
ユーロ: 対円	119.40	131.0	130.47				
電気銅建値: 円/トン	638,000	1,050,000	1,019,500				

注) 売上高及び営業利益は、バルブ事業と伸銅品事業のみを表示しておりますが、合計はその他を含む連結合計であるため、一致していません。

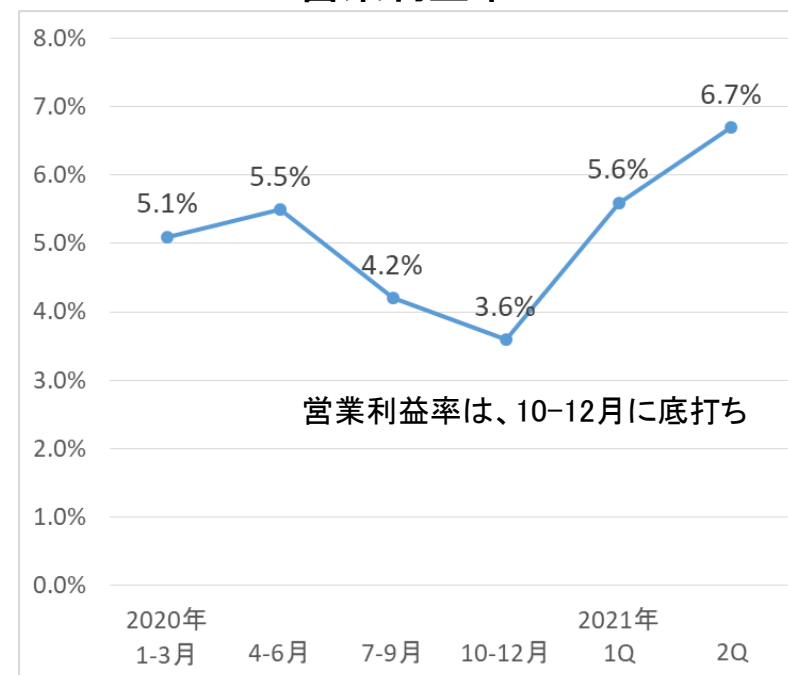
四半期(3ヵ月)業績推移

(百万円)

売上高/営業利益



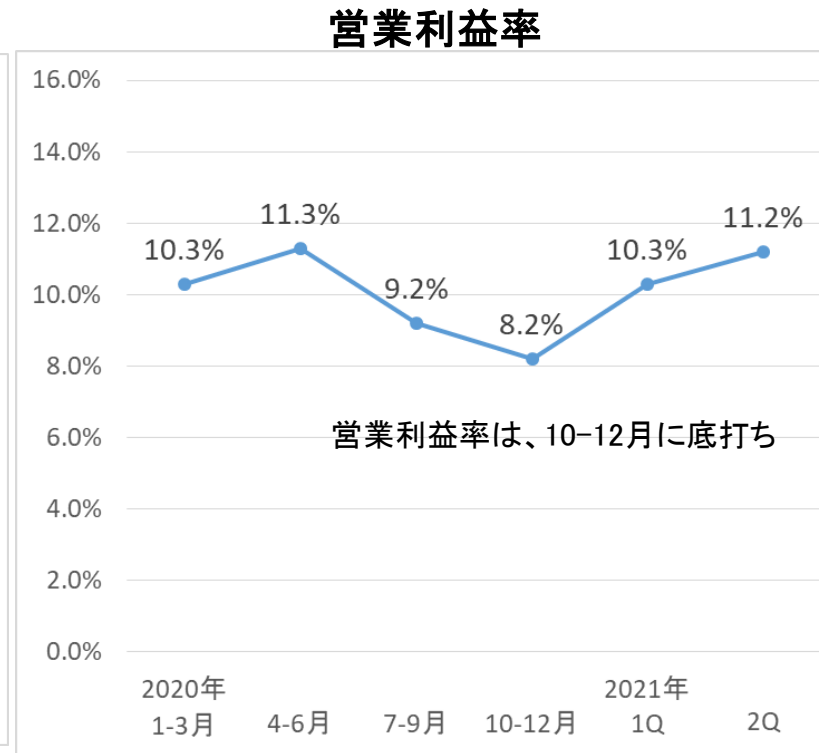
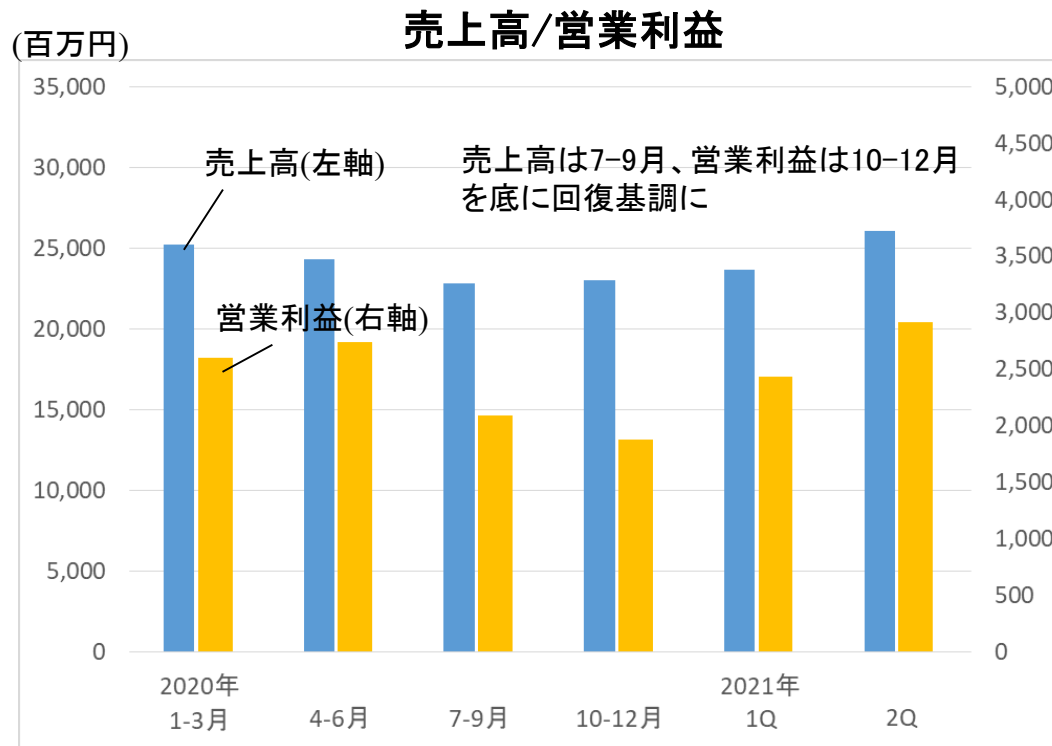
営業利益率



(百万円)

	2020年				2021年12月期	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1Q	2Q
売上高	30,891	28,745	27,053	28,446	29,772	33,345
営業利益	1,577	1,580	1,147	1,023	1,677	2,224
経常利益	2,203	1,363	1,076	730	1,694	2,263
親会社株主に帰属する当期純利益	1,252	839	837	437	918	1,144
営業利益率	5.1%	5.5%	4.2%	3.6%	5.6%	6.7%

バルブ事業 四半期(3ヵ月)業績推移



(百万円)

	2020年				2021年12月期	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1Q	2Q
売上高	25,206	24,322	22,799	23,006	23,683	26,073
営業利益	2,598	2,739	2,091	1,877	2,433	2,914
営業利益率	10.3%	11.3%	9.2%	8.2%	10.3%	11.2%

バルブ事業 国内売上高(市場別)

前年同一期間比2億1百万円(0.6%)減の320億21百万円。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、建築設備向け、工業向けともに実需には未だ力強さは感じられないものの、前年同一期間とほぼ同じ水準まで回復した。3月に発表した価格改定に伴う仮需の納入が4月から始まったこともあり、2Qは建築設備向けを中心とする標準品の販売が順調に推移。水関連は、官公需が中心の上下水道向け及びフィルターが引き続き堅調。市況の高止まりが続く半導体関連は、1Qに引き続き高水準を維持した。

単位(億円)

	2020年					2021年12月期			対前年	
	1-3月	4-6月	1-6月	7-9月	10-12月	1Q	2Q	2Q累計	増減額	増減率
国内 合計	167	156	323	150	152	153	168	320	▲2	▲1%
建築設備	70	62	132	60	61	62	72	134	2	1%
水関連	21	17	38	21	24	20	19	38	-	-%
半導体関連	17	18	35	16	19	23	24	47	12	34%
機械装置関連	18	17	35	16	15	14	16	30	▲5	▲14%
石油精製・石油化学	18	17	35	15	14	16	16	32	▲3	▲9%
一般化学	6	6	12	7	6	6	6	12	-	-%
食品・製紙	5	5	10	5	5	5	5	10	-	-%
ガス・電力	6	5	11	5	5	5	5	10	▲1	▲9%
大型プロジェクト物件	7	9	16	5	4	3	4	7	▲8	▲56%

注) 1 各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししております。

注) 2 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

バルブ事業 海外売上高(エリア別)

前年同一期間比4億30百万円(2.5%)増の177億36百万円。ワクチンの接種は各エリアで進んでいるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、中国を除く全エリアで継続。アセアン・韓国他は、アセアン各国で新型コロナ再拡大により経済活動の停滞が継続。中国は、データセンター向けを中心とした建築設備向け、工業向けともに好調。中国・韓国の半導体向けは、国内と同様に好調が継続している。米州のOil&Gas市場向け投資は低調。南米MGAは好調を維持している。Oil&Gas向け中心の欧州は、新型コロナ再拡大の影響もあり、厳しい状況が続く。

単位(億円)

	2020年					2021年12月期			対前年	
	1-3月	4-6月	1-6月	7-9月	10-12月	1Q	2Q	2Q累計	増減額	増減率
海外 合計	85	87	173	78	78	84	93	177	4	3%
アセアン・韓国他	29	35	64	30	29	32	33	65	1	1%
(内、半導体向け)	(5)	(8)	(13)	(5)	(6)	(8)	(5)	(13)	(-)	-%
中国	17	18	35	18	18	20	24	44	9	25%
(内、半導体向け)	(2)	(3)	(5)	(2)	(3)	(3)	(5)	(8)	(3)	60%
中東	1	2	3	1	1	1	1	2	▲1	▲33%
アジア計	49	56	104	48	48	53	58	112	8	4%
米州(北米、中南米)	26	21	48	21	21	24	27	50	2	4%
欧州・その他	10	10	20	9	9	7	8	15	▲5	▲25%

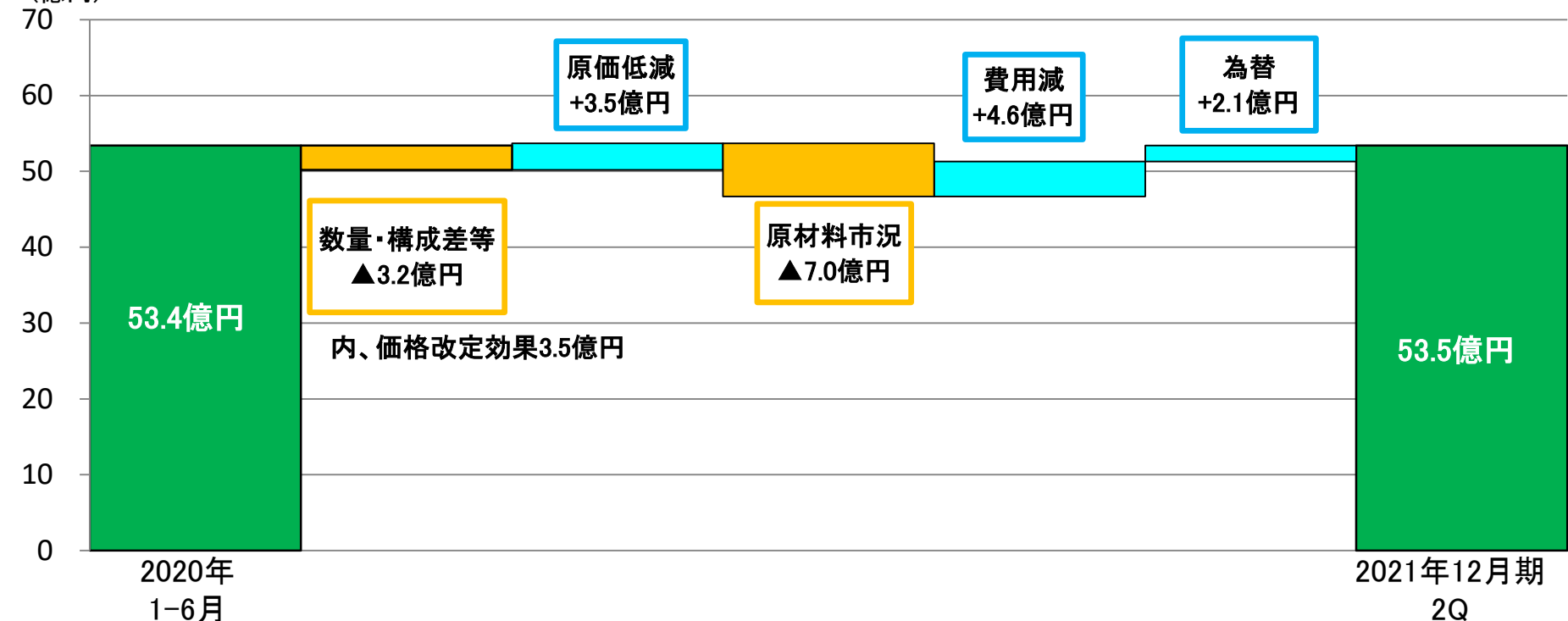
注) 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

バルブ事業 営業利益増減要因

単位(百万円)

	2020年 1-6月 実績	2021年 12月期 2Q計画	2021年 12月期 2Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	49,529	49,800	49,757	228	0.5%	▲42	▲0.1%
営業利益	5,338	5,200	5,348	10	0.2%	148	2.8%

(億円)



伸銅品事業の概要

■売上高について

売価に影響を与える原材料相場は、上昇が継続。生産量・販売量はコロナ前の水準で推移。売上高は、前年同一期間比35.3%増の127億43百万円。

■営業利益について

原材料相場の上昇局面にあり、4億60百万円の営業利益（前年同一期間は2億円の営業損失）。

単位(百万円)

	2020年 1-6月 実績	2021年 12月期 2Q計画	2021年 12月期 2Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	9,415	12,500	12,743	3,328	35.3%	243	2.0%
営業利益	▲200	350	460	661	-%	110	31.7%
電気銅建値:円/トン	638,000	1,050,000	1,019,500				



黄銅棒とその加工品



キッツメタルワークス 製造設備

その他の概要

■売上高について

ホテル事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、前年同一期間比11.1%減の6億16百万円。

■営業利益について

2億10百万円の営業損失（前年同一期間は2億36百万円の営業損失）。

単位（百万円）

	2020年 1-6月 実績	2021年 12月期 2Q計画	2021年 12月期 2Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	692	600	616	▲76	▲11.1%	16	2.7%
営業利益	▲236	▲150	▲210	25	-%	▲60	-%



長野県諏訪市のホテル紅や

連結営業外・特別損益の状況

単位(百万円)

	2020年 1-6月実績	2021年12月期 2Q実績	増減額	主な内訳
営業利益	3,158	3,902	743	
営業外収益	—	563	—	伸銅品事業ヘッジ差損益 ▲176 (前期 5→当期▲171)
営業外費用	—	506	—	
経常利益	3,566	3,958	392	
特別利益	—	9	—	有形固定資産減損損失 ▲335 株式評価損(前期▲100→ 当期0)
特別損失	—	353	—	
税金等調整前当期純利益	3,185	3,614	428	
法人税等	—	1,487	—	
当期純利益	—	2,126	—	
非支配株主に帰属する当期純利益	—	62	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,091	2,063	▲28	

バランスシートの状況

売上債権及びたな卸資産は増加したものの、現金及び預金の減少等により、資産合計は9億15百万円減少。

■流動資産：現金及び預金の減少 58億38百万円 売上債権の増加 28億67百万円 たな卸資産の増加 29億14百万円

■固定資産：有形固定資産の減少 2億4百万円 無形固定資産の減少 7億92百万円

■負債：支払手形及び買掛金の増加 21億47百万円 短期・長期借入金の減少 71億23百万円

■有利子負債は、74億99百万円減少し、418億53百万円（純有利子負債は16億60百万円減少し、139億72百万円）

■純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加等により、33億1百万円増加

単位(百万円)

資産の部	2020年 12月末	2021年 6月末	増減額	負債の部	2020年 12月末	2021年 6月末	増減額
流動資産	81,765	81,947	182	流動負債	23,332	20,721	▲2,610
固定資産	58,916	57,819	▲1,097	固定負債	42,182	40,576	▲1,606
有形固定資産	42,303	42,099	▲204	負債合計	65,514	61,297	▲4,217
無形固定資産	6,211	5,418	▲792	純資産合計	75,167	78,468	3,301
投資等	10,401	10,301	▲100	負債・純資産 合計	140,681	139,766	▲915
資産合計	140,681	139,766	▲915				

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動CF: 税金等調整前四半期純利益36億14百万円、減価償却費32億87百万円、仕入債務の増加19億32百万円。売掛債権の増加、たな卸資産の増加はあったが、38億97百万円の資金の増加。
- 投資活動CF: 有形固定資産の取得による支出19億98百万円等により、18億60百万円の資金の減少。
- 財務活動CF: 短期・長期借入金の返済等による支出71億84百万円、社債の償還による支出2億37百万円、配当金の支払3億60百万円等により、83億30百万円の資金の減少。

単位(百万円)

	2020年 1-6月実績	2021年12月期 2Q実績	増減額	増減率
営業活動CF	-	3,897	-	-%
投資活動CF	-	▲1,860	-	-%
フリーCF	-	2,036	-	-%
財務活動CF	-	▲8,330	-	-%
現金等期末残高	-	27,611	-	-%

第2四半期の主な経営指標

単位(百万円)

	連結	
	2020年 1-6月実績	2021年12月期 2Q実績
売上高	59,637	63,117
営業利益	3,158	3,902
経常利益	3,566	3,958
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,091	2,063
海外売上高比率	29.7%	29.0%
有利子負債	40,462	41,853
自己資本比率	55.9%	55.6%
BPS	—	866.16円
EPS	—	23.01円

1 第2四半期決算の概要

2 通期業績見通し

－補足データ－

2021年12月期 通期業績見通し

単位(百万円)

【ご参考】
修正前
(5/12発表)

	2020年 1-12月 実績	2021年12月期						【ご参考】 修正前 (5/12発表)
					下期	通期	対前年 増減率	
		1Q 1-3月 実績	2Q 4-6月 実績	上期 実績				
売上高	115,138	29,772	33,345	63,117	67,382	130,500	13.3%	129,500
営業利益 (率)	5,328 (4.6%)	1,677	2,224	3,902 (6.2%)	4,197	8,100 (6.2%)	52.0%	7,700
経常利益 (率)	5,372 (4.7%)	1,694	2,263	3,958 (6.3%)	4,041	8,000 (6.1%)	48.9%	7,500
親会社株主に帰属 する当期純利益 (率)	3,366 (2.9%)	918	1,144	2,063 (3.3%)	2,486	4,550 (3.5%)	35.2%	4,400
ドル:対円	106.4					109.0		
ユーロ:対円	122.0					131.0		
電気銅建値: 円／トン	700,000					1,050,000		

セグメント別計画

単位(百万円)

【ご参考】
修正前
(5/12発表)

売上高	2020年 1-12月 実績	2021年12月期					
				上期 実績	下期	通期	対前年 増減率
		1Q 1-3月実績	2Q 4-6月実績				
バルブ事業	95,335	23,683	26,073	49,757	53,242	103,000	8.0%
伸銅品事業	18,102	5,772	6,971	12,743	13,056	25,800	42.5%
その他	1,699	316	300	616	1,083	1,700	0.0%
計	115,138	29,772	33,345	63,117	67,382	130,500	13.3%

101,700

25,800

2,000

129,500

営業利益	2020年 1-12月 実績	2021年12月期					
				上期 実績	下期	通期	対前年 増減率
		1Q 1-3月実績	2Q 4-6月実績				
バルブ事業	9,306	2,433	2,914	5,348	6,151	11,500	23.6%
伸銅品事業	▲184	187	273	460	189	650	-%
その他	▲344	▲96	▲114	▲210	0	▲210	-%
調整額	▲3,449	▲847	▲848	▲1,696	▲2,143	▲3,840	-%
計	5,328	1,677	2,224	3,902	4,197	8,100	52.0%

10,800

650

0

▲3,750

7,700

バルブ事業 事業環境見通し

【国内】

- ・ 建築設備向けについては、価格改定に伴う仮需の納入もあり堅調。価格改定効果は3Qより本格化する見込みだが、実需については、緩慢な回復ペースが継続する見通し。
- ・ 工業向けについては、小型案件はあるものの大型物件の動きは少ない。プラント等のメンテナンス需要は比較的堅調であり、パーツ販売、調節弁の拡販等、MROビジネスの拡大を図る。
- ・ 半導体向けは、国内外において好調を持続する見込み。データセンター、5G通信施設、EC拡大を受けた物流施設等、デジタル需要を背景とした投資が拡大する見込み。
- ・ 水関連市場向けは、上下水道向けが官公需中心であり、堅調に推移。季節性により下期は売上が増加。半導体関連等で使用されるバルブや工業用フィルターも好調。

【海外】

- ・ 北米は、回復基調にあるもののコロナ前の水準には戻らずOil&Gas市場はスロー。南米は一般産業向けを中心に好調を持続。
- ・ 欧州は、新型コロナウイルス感染の再拡大を繰り返す中で国ごとに濃淡はあるものの、ワクチンの接種が進むことで市場が回復することを期待。
- ・ 中国向けは、いち早く経済が回復し好調を持続。データセンター向け等の需要取り込みに注力。
- ・ アセアンは、新型コロナウイルス感染の再拡大が見られ経済活動の停滞が継続。ワクチン接種も他の地域に比べて進まず、厳しい状況が継続する見通し。
- ・ 中国・韓国向け半導体市場は、国内と同じく好調が継続する見込み。

バルブ事業 国内売上計画(市場別)

単位(億円)

	【ご参考】 2019年3月期 実績	2020年 1-12月 実績	2021年12月期 計画	増減額	増減率
日本計	694	625	664	39	6%
建築設備	293	253	276	23	9%
水関連	79	83	88	5	6%
半導体関連	86	70	90	20	28%
機械装置関連	74	66	70	4	6%
石油精製・石油化学	68	64	62	▲2	▲3%
一般化学	28	24	24	—	—%
食品・製紙	24	20	20	—	—%
ガス・電力	24	20	20	—	—%
大型プロジェクト物件	18	25	14	▲9	▲45%

注) 1 各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししております。

注) 2 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

注) 3 決算期変更の移行期間となる2020年12月期は4-12月の9カ月決算であったため、2020年の実績には、参考値として、1-12月(12カ月・非監査)の数値を表示しています。

バルブ事業 海外売上計画(エリア別)

単位(億円)

	【ご参考】 2019年3月期 実績	2020年 1-12月 実績	2021年12月期 計画	増減額	増減率
海外 合計	406	326	366	40	12%
アセアン・韓国他	142	125	134	9	7%
(内、半導体向け)	(20)	(24)	(28)	(4)	16%
中国	79	70	88	18	26%
(内、半導体向け)	(22)	(10)	(21)	(11)	110%
中東	36	5	5	—	—%
アジア計	256	200	227	27	13%
米州(北米、中南米)	113	87	100	13	15%
欧州・その他	36	39	39	—	—%

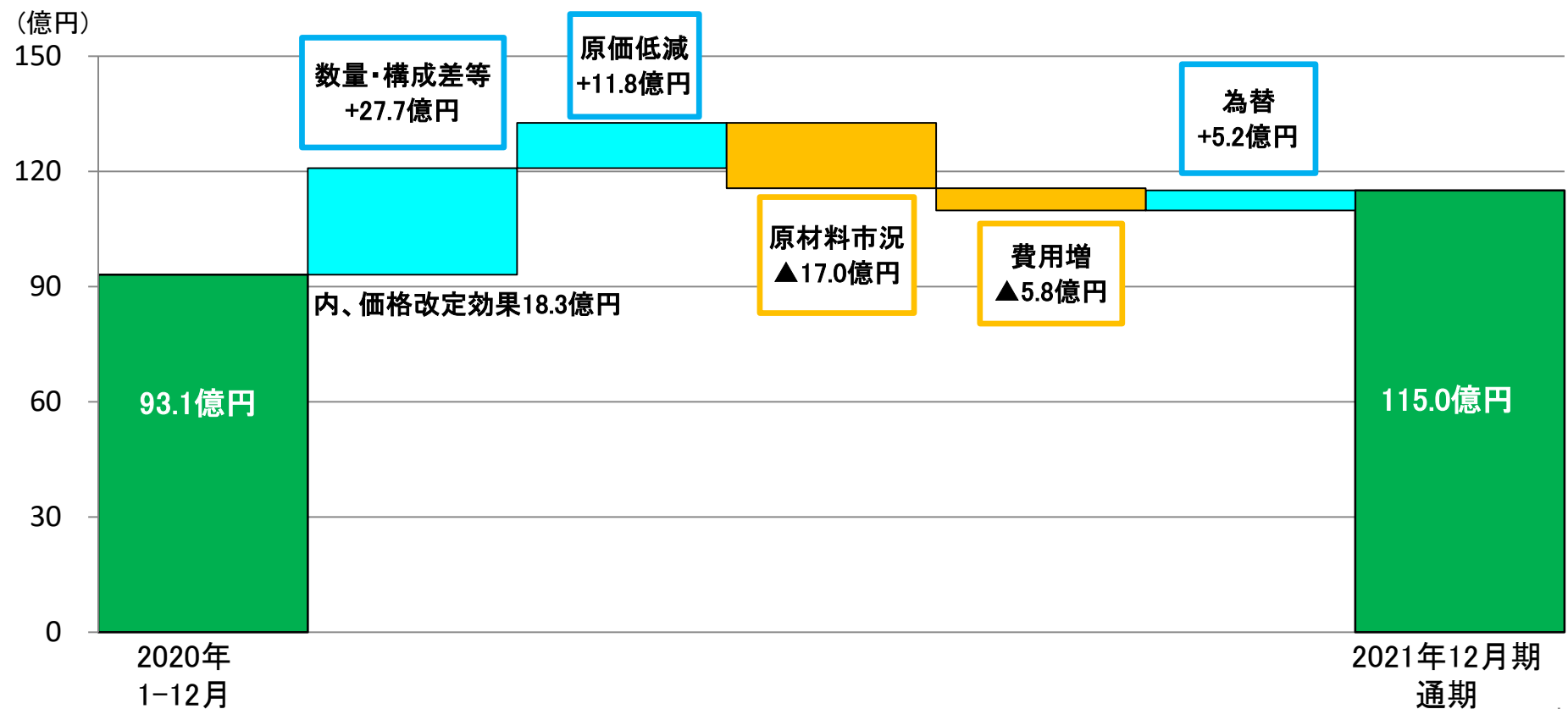
注) 1 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

注) 2 決算期変更の移行期間となる2020年12月期は4-12月の9カ月決算であったため、2020年の実績には、参考値として、1-12月(12カ月・非監査)の数値を表示しています。

バルブ事業 営業利益増減要因

単位(百万円)

	2020年 1-12月 実績	2021年12月期 計画	増減額	増減率
営業利益	9,306	11,500	2,193	23.6%



株主還元方針

配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準と考えている。2021年12月期は、1株当たり18円(第2四半期末9円、期末9円)の配当予想とする。連結配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の35.5%となる見込み。



新市場区分「プライム市場」適合について

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合することを確認した。



当社は、この結果に基づき、新市場区分の選択について取締役会において審議し決議を経て、所定の手続きを進める予定。

100%子会社三吉バルブの吸収合併を決定

KITZ

三吉バルブは、1999年11月に当社グループに入り、「三吉ブランド」で建築設備、機械装置及び冷凍機向けバルブの製造・販売を担ってきたが、2011年に生産を当社工場に移管、2014年には建築設備向け汎用バルブの販売の一部を当社営業部門に移管するなど、当社との事業の統合を進めてきた。

当社グループの経営資源の有効活用と経営の効率化を実現するために、当社が三吉バルブを合併し、1つの組織体となり事業運営を行うことが最良の策であると判断。

なお、「三吉ブランド」は今後も存続する。

・合併効力発生日：2022年1月1日（予定）

■三吉バルブの概要

商 号：三吉バルブ株式会社

設 立：1939年12月

本 店：千葉市美浜区中瀬1-10-1

代表者：小原 克尋

資本金：50百万円

売上高：274百万円（2020年12月期：9ヵ月）

総資産：228百万円（2020年12月末）



健康経営への取り組みをスタート

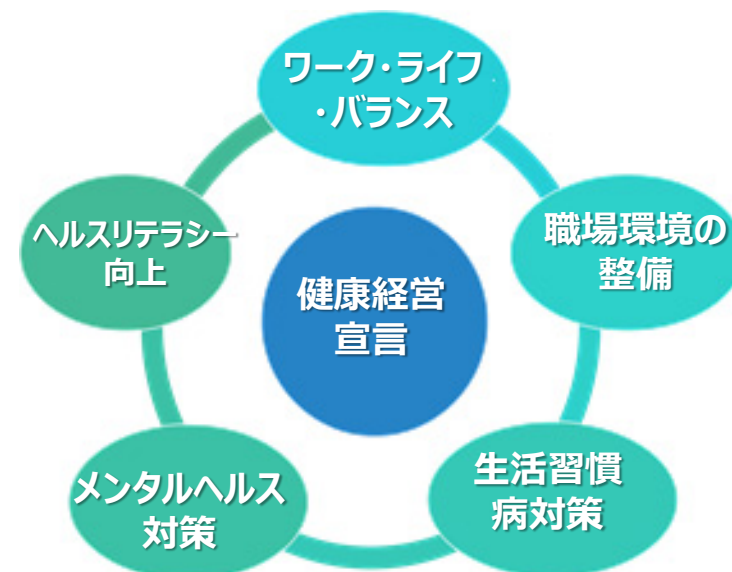
2030年にキッツグループが目指す「公正かつ透明なルールの下、社員が生活をより良くし、より安全に、より健康に働くことができる企業」を実現するため、「健康経営」への取り組みをスタート。「健康経営」は、社員の健康や活力を向上させる中長期的な取り組みであり、キッツグループが推進するESGを軸とするサステナビリティ経営の重要な要素の一つとなっている。

キッツグループ健康経営宣言

私たちは、従業員の心身の健康増進を図ることにより、個々の能力や個性を最大限に発揮し、健康でいきいきと働くことができる会社を目指します。

健康経営取り組み方針～5つの柱～

1. ワーク・ライフ・バランスの実現
2. 安全・健康増進を軸とした職場環境の整備
3. 予防を重視した生活習慣病対策
4. メンタルヘルス対策・職場のストレス対策
5. ヘルスリテラシー向上のための社員教育





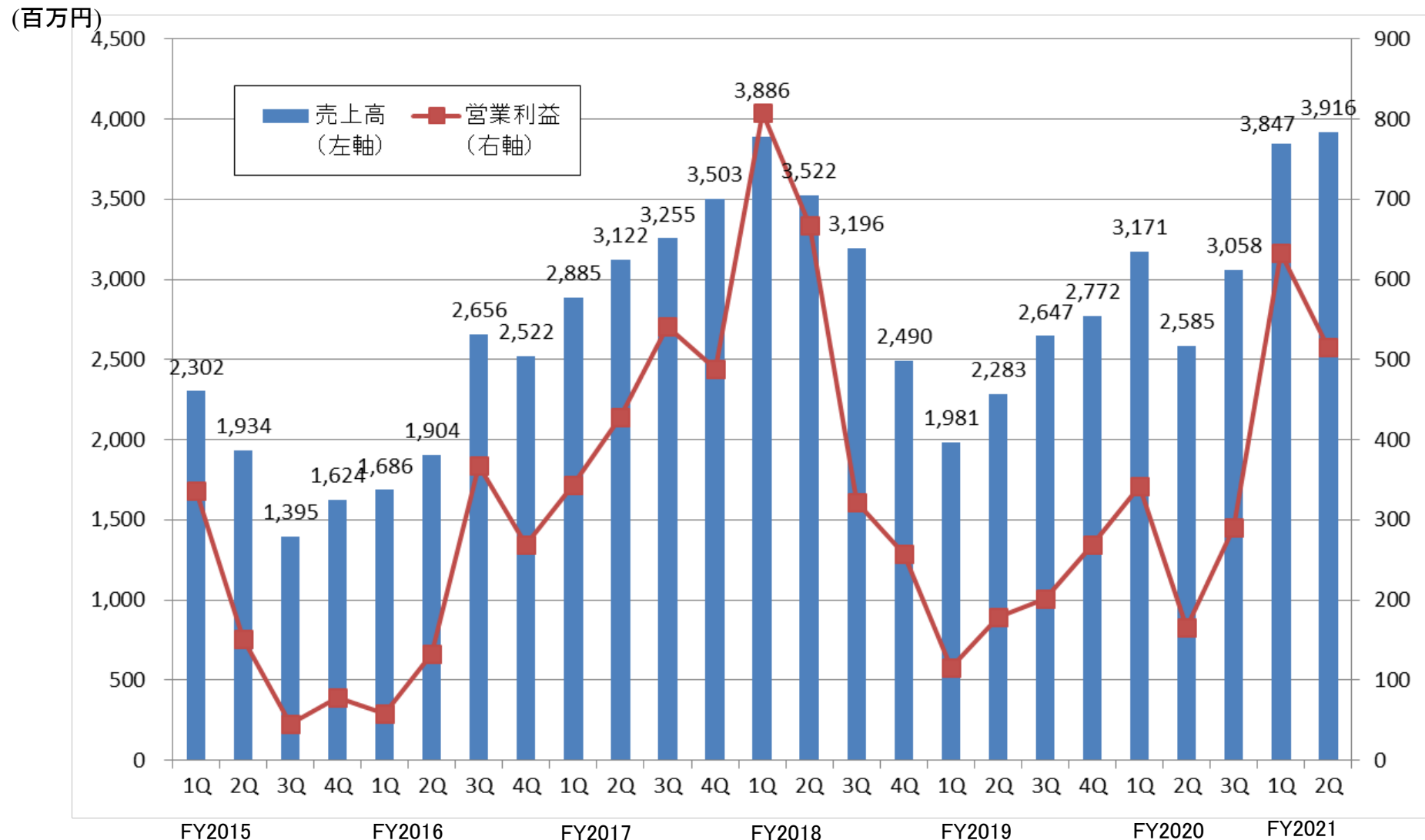
ご清聴ありがとうございました。

1 第2四半期決算の概要

2 通期業績見通し

-補足データ-

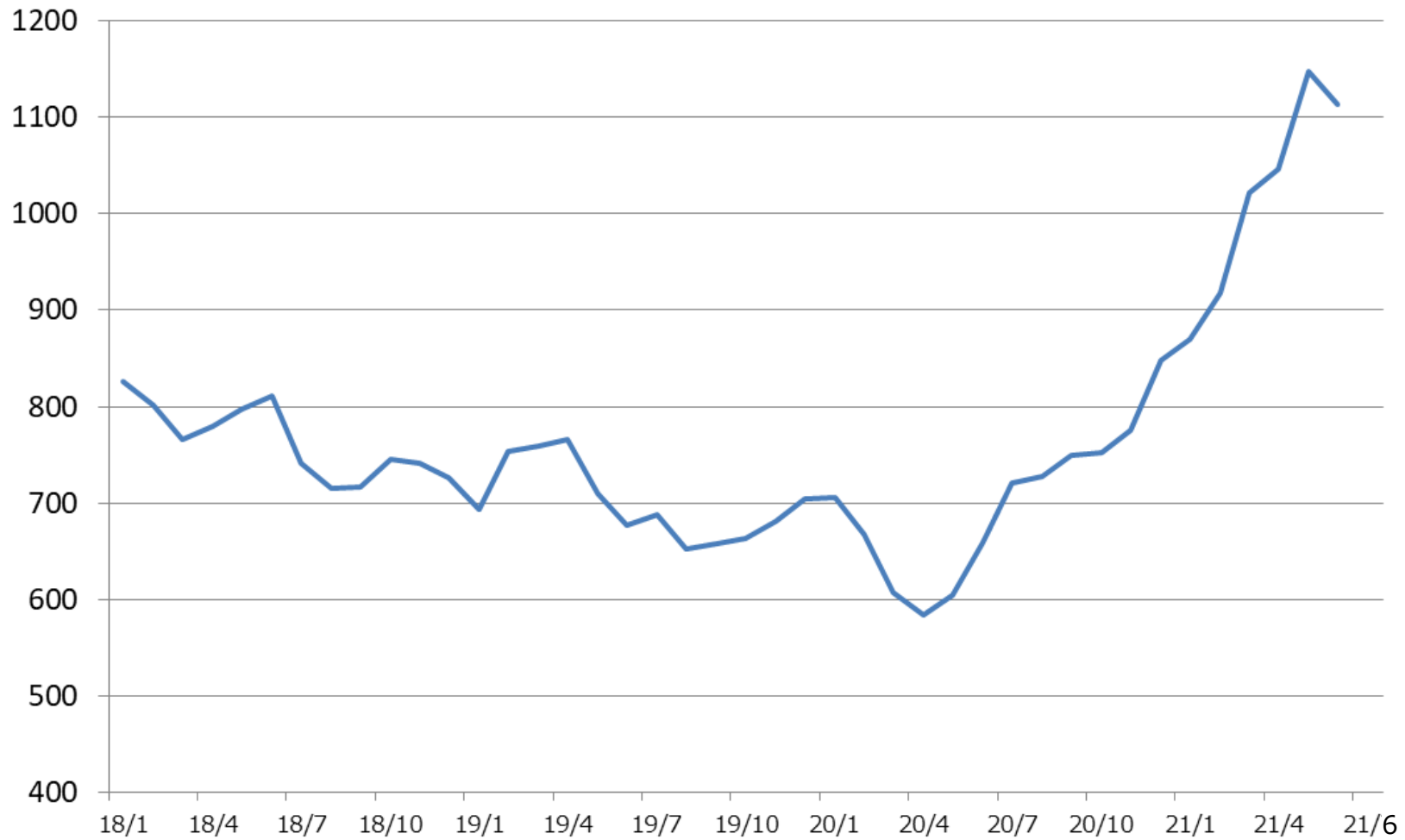
四半期業績推移(半導体向け)



- ・半導体向け製品を製造・販売する株式会社キッツエスシーティーの売上高・営業利益を四半期(3カ月)毎に表示。
- ・連結消去前のため、連結決算数値とは差異があります。

電気銅建値推移

(千円/ton)



原油価格推移

(USD/バレル)

